

京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進ネットワーク協議会 議事要旨

1 日 時 平成23年9月9日（金） 午前10時～12時

2 場 所 京都工業会館3階第4会議室

3 議 事

①京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター（以下「センター」という。）
発足後の現在までの活動状況等について報告。
また、センター発足を記念したシンポジウム^(※)の開催について意見交換。
出された意見等を踏まえ、開催に向けて調整を進めることとなった。

※【シンポジウムの開催趣旨】

産業界、処理業界、行政等、各業界の課題・情報の共有化を図り、業界間の連携強化を図るとともに、センター設立及び減量・リサイクル支援事業について、多くの企業に周知し、今後の積極的なセンター事業の利用を促進するために、シンポジウムを開催するもの。

②次年度のセンター社団法人化に向けて、新たな減量・リサイクル支援事業やセンター機能について意見交換。

4 主な意見等

（1）シンポジウムの開催について

<シンポジウムの開催主体等について>

○シンポジウムはセンター・京都府・京都市の共催、他のセンター構成団体は後援し、開催をバックアップしていくことで一同了承。

<シンポジウムの内容について>

○大震災を踏まえ、今後、廃棄物と社会がどのような関わりを持っていくのかという視点のテーマを設定してもよい。社会全体的な関心事でもあり、個々の企業においても考えていただきたい内容ではないか。

○センター設立の趣旨・支援事業の期待される効果に加え、今後の展望等を伝え、センターに関心を持っていただける内容とすべき。

- 企業としても何らかの影響がある、関心を得られるようなテーマが必要。行政における廃棄物処理の方針が変わる、新たな方向性が示される等の内容も企業にとっては影響を受けるテーマである。
- 「業界間のパートナーシップの構築」がメインテーマになるが、それを構築することによるメリットを打ち出していくべき。
- 排出事業者においては「経費削減」、処理業者においては「利益向上」、また、共通事項として「コンプライアンス」という3つのキーワードがある。これらのキーワードを網羅したテーマ設定が望ましい。

（2）新たな減量・リサイクル支援事業やセンター機能について

<普及啓発・研修支援の機能>

- 一般の府民・市民の方の産業廃棄物に関する認識は深くない。産業廃棄物に関する理解を深めてもらうために、センターでは産業廃棄物に関する減量・リサイクルの取組の情報発信や普及啓発を充実させていくべき。
- 府民、市民、事業者の方が理解しやすい教材が必要。産業廃棄物や減量・リサイクルに関する基本的知識・情報をまとめたテキスト等を、センターで制作・発行してはどうか。特に、京都における“学”の力を活用すべき。産業廃棄物に関する理解向上にも寄与すると考える。
- 先般、センターの協力を得て、長田野工業団地内でゼロエミッション推進担当者会議を開催したが、大変有意義であった。このような企業等とセンターとの関わり方にも、センター機能の一端があるのではないか。

<技術開発・環境産業創出の機能>

- センターでは各支援事業を通じて、産業廃棄物にかかる企業からのニーズや処理の現状の課題等を吸い上げ、新しいリサイクル技術開発に向けたマッチング・コーディネートやリサイクル業者育成にも寄与してもらいたい。
- 排出事業者側のニーズ・問題点にかかる情報、処理業者側の持つ技術や必要とする技術にかかる情報をマッチングさせていく中で、新たな事業展開や新しい環境産業の創出までつなげることができれば理想的である。